

平成27年度

「『授業改善』のための調査」報告書
(学生調査)

東北女子大学 FD 委員会

[H28.5.12]

《目次》

1. 実施方法	2
(1) 実施期間	
(2) 実施・回収方法	
(3) 実施科目	
(4) 調査項目	
(5) 集計方法	
(6) 回収率	
(7) 結果の公表方法	
2. 結果	4
(1) 年度別の 14 項目の平均点	4
(2) 年度別、学科別の 14 項目の平均点	5
(3) 学科別、学年別の 14 項目の平均点	5
(4) 学科別、授業形態別（講義、演習、実習、実験）の 14 項目の平均点	7
(5) 学科別、年度×学科×必修・選択の 14 項目の平均点	11
(6) 年度×学科×科目(共通[一般]・専門・教職)の 14 項目の平均点	13
(7) 「14 総合評価」について各授業科目の平均点の分布	16
(8) 学科別の 14 項目間の相関係数表	17
(9) 学科×学年の重回帰分析	19
(10) まとめ	21
3. 付録	
「授業改善」のための調査用紙（アンケートで使用した調査用紙）	
「授業改善」のための調査実施のお願い	
学生による授業評価アンケート集計結果表（科目別）	

1. 実施方法

(1) 実施期間

授業評価の実施時期は、半期科目・通年科目ともに前期末及び後期末の年 2 回とした。期間としては、前期は 7 月または 9 月、後期は 1 月または 2 月、原則的にその最終講義またはその前の回に実施した。

(2) 実施・回収方法

授業評価は、授業時間内に行い、当該科目の担当教員が実施した。

担当教員が授業評価のアンケート用紙と「授業改善」のための調査実施のお願いの用紙を学務課で受け取り、講義室で配布し、おおよそ 10 分程度の回答時間を設けて学生が記入する。教員もしくは教員から委託を受けた学生が回収・封をし、授業終了後直ちに学務課に届けるという方法をとった。

(3) 実施科目

卒業研究、臨地臨床実習科目を除く、全開講科目を対象とした。

(4) 調査項目

(付録「授業改善」のための調査用紙 参照)

調査項目は、選択式回答(自由記述欄を含む 14 項目、5 段階評価)である。授業についての評価 8 項目(項目番号 1~8)、学生自身の授業の取り組み方についての評価 5 項目(項目番号 9~13)、総合的な授業満足度 1 項目(項目番号 14)の計 14 項目からなる。

なお、調査票は無記名とし、学部・学年・授業科目名・授業担当者名を記入した。

(5) 集計方法

調査を実施した全授業科目の科目番号に基づき、すべての調査項目について各開講科目別にデータ処理を行った。今回は、新たに健康栄養学科が設置されたので、「健康栄養学科」、「家政学科」、「児童学科」の 3 学科に分類し集計した。この報告書の中では、健康栄養学科を N、家政学科を L、児童学科を C と表記する。なお、健康栄養学科は 1 年次、家政学科は 2, 3, 4 年次、児童学科は 1, 2, 3, 4 年次の集計となる。

(6) 回収率

実施対象科目におけるアンケート実施状況は、平成 27 年度前・後期において 100 パーセントである。また、アンケート用紙の回収率はいずれも 9 割を超えた(表 1)。

表 1 『授業改善』のための調査 アンケート実施状況

	実施科目数	履修登録者延べ人数	回収枚数	回収率
平成 27 年度前期	156	5162	4722	91.5%
平成 27 年度後期	148	4312	4137	95.9%

(7) 結果の公表方法

個々の科目の集計結果は、次年度授業内容の改善に役立てるために、各科目の担当

教員にフィードバックを行った。(付録「学生による授業評価アンケート集計結果表(科目別)」参照)

また、全体の集計結果については、報告書を作成し、学内の教員に公表した。

2. 結果

(1) 年度別の 14 項目の平均値

27 年度の全体的な結果をみるために、全学年、全学科をまとめた各項目の平均値を算出した（表 2）。

表 2 14 項目の平均値

	19年度		21年度		23年度		25年度		27年度	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1 内容理解	4.0	4.1	4.0	4.1	4.1	4.2	4.1	4.2	4.1	4.3
2 興味関心	4.0	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2	4.4
3 目的明確さ	4.1	4.3	4.3	4.4	4.3	4.4	4.3	4.4	4.4	4.5
4 教員熱意	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.4	4.5
5 話し方明瞭・速さ	3.9	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3
6 学習内容量	4.0	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2	4.3
7 教材の工夫	3.9	4.0	4.0	4.2	4.1	4.2	4.1	4.3	4.1	4.3
8 授業名と内容の一致	4.4	4.5	4.5	4.6	4.5	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6
9 課題の取り組み	4.1	4.2	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.4
10 授業への質問	2.4	2.9	3.0	3.4	3.1	3.4	3.1	3.4	3.2	3.5
11 私語などしない	—	3.9	4.0	4.0	4.1	4.2	4.1	4.2	4.1	4.2
12 シラバスのチェック	2.2	2.3	2.7	2.7	2.8	2.9	2.8	3.0	3.1	3.0
13 予習・復習	2.4	2.9	3.1	3.3	3.3	3.5	3.2	3.6	3.3	3.6
14 総合満足度	4.0	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.3	4.2	4.4

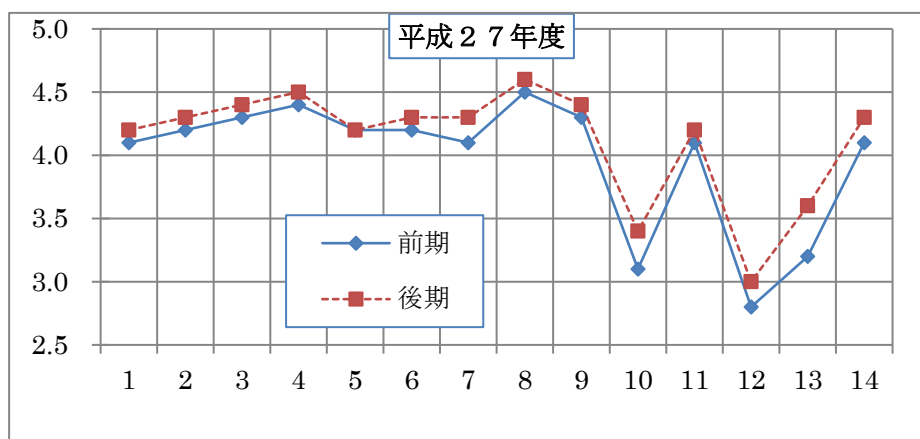


図 1 14 項目の平均値

ほとんどの設問で、前期より後期の平均値が高くなっている。

「授業についての評価」（項目 1～8）では、全て 4 以上の評価を得ている。「学生自身の授業取り組みについての評価」（項目 9～13）では、「9 課題への取り組み」と「11 私語などしない」が 4 以上で、それ以外の項目で 3 点台と低い評価である。このことは、学生自身は授業に対してやる気があるが、自分で何かをするという部分が弱いと推測できる。しかし、「13 予習・復習」は、前期は 25 年度より 27 年度は評点が上がり、後期は同じである。項目 14 の総合満足度では、27 年度も 4 点台を維持している。19 年度から比較すると毎回上がり、27 年度は前期、後期とも今までより上がっている。これは、毎年、授業が改善され続けられていることが学生から評価されていると言える。

(2) 年度×学科別の 14 項目についての平均点

学科別の結果をみるために、前後期の全学年をまとめた各項目の平均点を算出した(表 3)。

表 3 年度×学科別の 14 項目の平均点

	健康栄養学科		家政学科				児童学科							
	27年度		23年度		25年度		27年度		23年度		25年度		27年度	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1 内容理解	4.1	4.4	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.0	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2	4.3
2 興味関心	4.2	4.4	4.1	4.0	4.1	4.2	4.2	3.9	4.3	4.4	4.2	4.4	4.3	4.4
3 目的明確さ	4.4	4.6	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.5	4.3	4.5	4.4	4.5
4 教員熱意	4.4	4.6	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.6	4.6	4.5	4.6	4.5	4.5
5 話し方明瞭・速さ	4.2	4.4	4.1	4.0	4.1	4.1	4.1	4.0	4.2	4.3	4.2	4.3	4.2	4.2
6 学習内容量	4.2	4.4	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.5	4.3	4.2	4.4	4.3	4.3
7 教材の工夫	4.1	4.5	4.1	4.0	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3	4.1	4.4	4.2	4.2
8 授業名と内容の一致	4.6	4.8	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6
9 課題の取り組み	4.3	4.4	4.2	4.2	4.3	4.3	4.2	4.3	4.3	4.4	4.3	4.4	4.4	4.4
10 授業への質問	3.2	3.4	3.0	3.3	3.1	3.4	3.3	3.9	3.1	3.4	3.0	3.4	3.2	3.5
11 私語などしない	4.1	4.2	4.0	4.0	4.2	4.2	4.0	4.0	4.2	4.3	4.1	4.2	4.1	4.2
12 シラバスのチェック	3.1	3.3	2.8	2.9	3.0	3.0	3.1	3.3	2.8	2.9	2.8	2.9	2.9	2.9
13 予習・復習	3.3	3.4	3.1	3.3	3.2	3.5	3.3	4.0	3.3	3.6	3.2	3.6	3.4	3.6
14 総合満足度	4.2	4.4	4.0	4.0	4.1	4.1	4.2	4.1	4.2	4.4	4.2	4.4	4.3	4.4

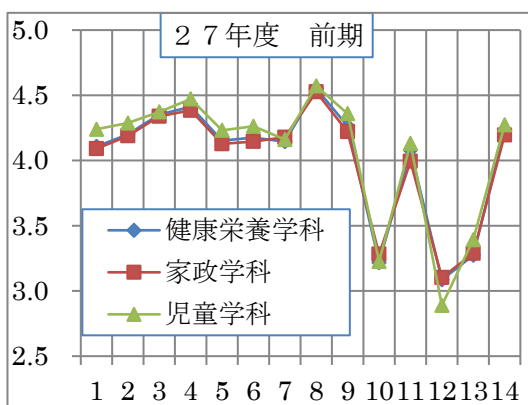


図 2 年度×学科別 前期

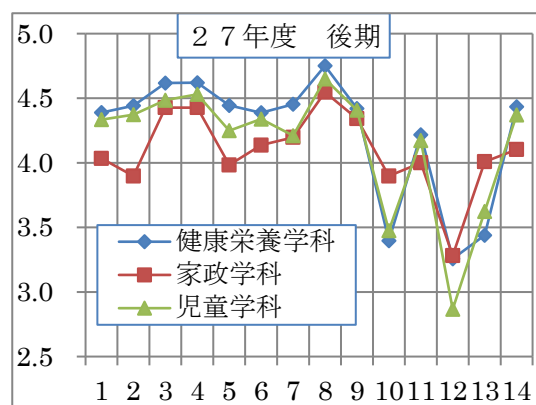


図 3 年度×学科別 後期

学科別に比較すると、前期は、健康栄養学科、家政学科、児童学科で大きな差が見られない。後期は、「授業についての評価」(項目 1~8)が学科により差が見られる。健康栄養学科が一番評価が高く、次に児童学科、家政学科となる。家政学科は授業についての評価「1 内容理解、2 興味関心、5 話し方」が低く、「学生の取り組み」の「10 質問、13 予習復習」が他の学科により高く、「14 総合満足度」が一番低い。「3 目的、4 熱意、8 内容一致、11 私語」は学科で差が見られない。年度別の変動は各項目であまり変化はない。

(3) 学科×学年の 14 項目の平均点

学年別の結果をみる上で、表 3 において学科による差が大きかったため、学科を分けて、学期ごとの各項目の平均点を算出した。その結果を健康栄養学科・家政学科(表 4)と児童学科(表 5)に示す。

表4 健康栄養学科・家政学科×学年の14項目の平均点

	27年度							
	前期				後期			
	健康栄養	家政学科			健康栄養	家政学科		
健康栄養・家政学科	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
1 内容理解	4.1	4.1	4.1	4.1	4.4	4.2	4.2	4.2
2 興味関心	4.2	4.1	4.2	4.3	4.4	4.3	4.2	4.3
3 目的明確さ	4.3	4.3	4.4	4.4	4.6	4.4	4.5	4.5
4 教員熱意	4.5	4.2	4.5	4.5	4.6	4.4	4.5	4.3
5 話し方明瞭・速さ	4.2	4.1	4.1	4.2	4.4	4.2	4.3	4.2
6 学習内容量	4.2	4.1	4.1	4.3	4.4	4.3	4.3	4.1
7 教材の工夫	4.1	4.1	4.3	4.2	4.5	4.2	4.3	4.1
8 授業名と内容の一致	4.5	4.5	4.6	4.6	4.8	4.6	4.6	4.6
9 課題の取り組み	4.3	4.1	4.3	4.4	4.4	4.4	4.3	4.2
10 授業への質問	3.0	3.1	3.5	3.1	3.4	3.6	3.7	3.1
11 私語などしない	4.2	3.9	4.1	4.1	4.2	4.2	4.0	3.9
12 シラバスのチェック	3.0	3.0	3.3	2.8	3.3	3.3	3.3	2.8
13 予習・復習	3.2	3.2	3.5	3.0	3.4	3.6	3.7	3.0
14 総合満足度	4.2	4.2	4.2	4.2	4.4	4.3	4.3	4.1

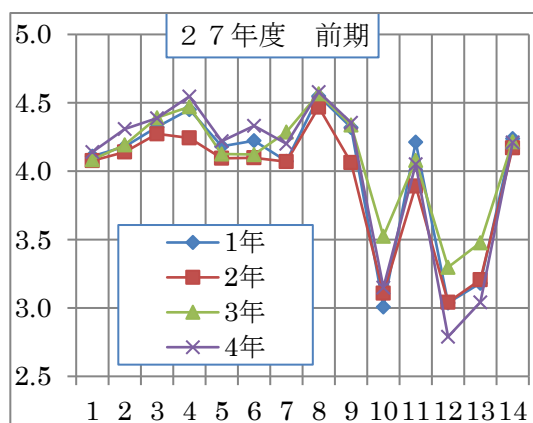


図4 健康・家政×学年 前期

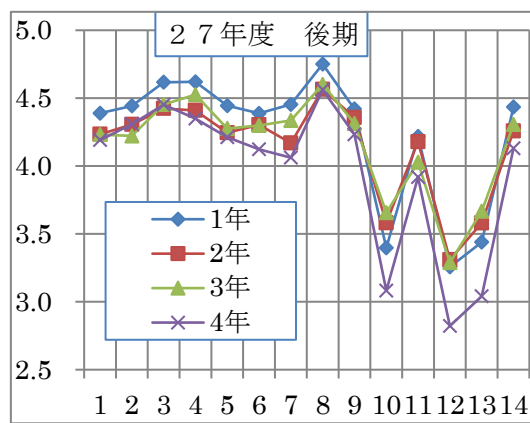


図5 健康・家政×学年 後期

健康栄養学科、家政学科を学年別に見てみる。健康栄養学科は新設のため1年次のみである。家政学科は234年次である。前期は各学年も「4熱意、8内容一致」の評価が高く、「10質問、12シラバス、13予習復習」の評価が低い。その中で3年が若干「10質問、12シラバス、13予習復習」が高くなっている。後期は、授業の評価は健康栄養学科が全体的に高く、満足度も一番高い。家政学科4年は「10質問、12シラバス、13予習復習」が低い。「14総合満足度」は、前期後期とも各学年同じくらいである。

表 5 児童学科×学年の 14 項目についての平均点

児童学科	27年度							
	前期				後期			
	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
1 内容理解	4.3	4.1	4.3	4.4	4.3	4.4	4.2	4.4
2 興味関心	4.3	4.2	4.2	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3
3 目的明確さ	4.5	4.2	4.4	4.4	4.5	4.5	4.4	4.4
4 教員熱意	4.5	4.4	4.5	4.6	4.6	4.6	4.5	4.5
5 話し方明瞭・速さ	4.4	4.0	4.3	4.3	4.4	4.2	4.2	4.3
6 学習内容量	4.4	4.1	4.3	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3
7 教材の工夫	4.2	4.0	4.2	4.4	4.3	4.1	4.2	4.2
8 授業名と内容の一致	4.7	4.4	4.6	4.5	4.7	4.7	4.5	4.5
9 課題の取り組み	4.5	4.3	4.2	4.4	4.5	4.5	4.2	4.3
10 授業への質問	3.4	3.1	3.2	3.3	3.7	3.4	3.4	3.1
11 私語などしない	4.4	4.2	3.9	4.0	4.3	4.2	4.0	3.9
12 シラバスのチェック	3.4	2.6	2.9	2.6	3.4	2.5	2.9	2.6
13 予習・復習	3.7	3.2	3.4	3.1	3.9	3.6	3.6	3.1
14 総合満足度	4.4	4.2	4.2	4.4	4.5	4.4	4.3	4.2

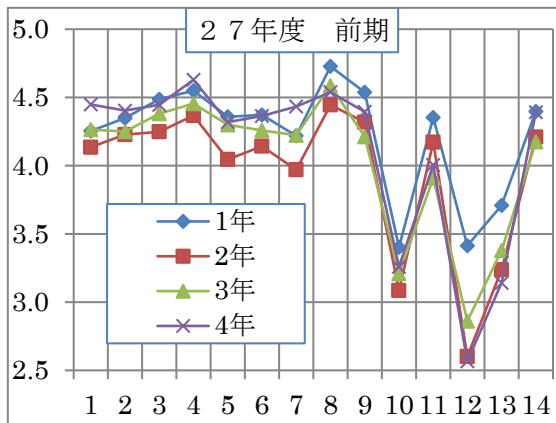


図 6 児童学科×学年 前期

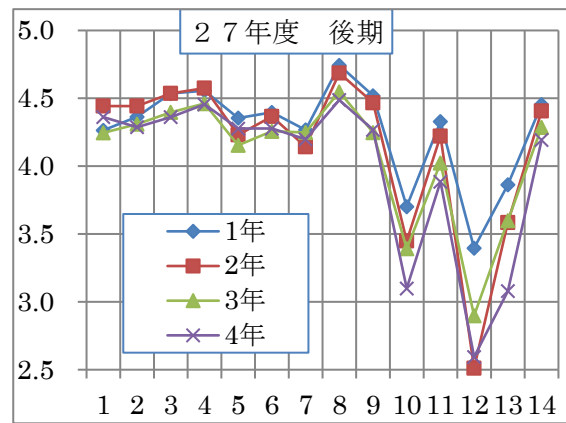


図 7 児童学科×学年 後期

児童学科を学年別でみてる（表 5）（図 6）（図 7）。前期は、「授業についての評価」は、4 年が全体的に高く、2 年が低い評価になっている。4 年は、項目「1～8」について高くなっている。学生自身の授業取り組みについては、1 年が高くなり、2 年 4 年は低くなっている。後期は、授業についての評価はほぼ同様であるが、学生自身の授業取り組みについては、4 年が低くなっている。

(4) 学科別、授業形態別（講義、演習、実習、実験）の 14 項目の平均点

授業形態が講義・演習・実習・実験・実技と異なると評価に違いがあるかをみるために、授業形態別の結果を、各項目の平均点を学科別、前後期別に算出した。その結果を健康栄養学科（表 6）、家政学科（表 7）と児童学科（表 8）に示す。

表 6 健康栄養学科の授業形態別の 14 項目の平均点

健康栄養学科	27年度									
	前期					後期				
	講義	演習	実習	実験	実技	講義	演習	実習	実験	実技
1 内容理解	3.9	4.5	4.9			4.3	4.5	4.7		
2 興味関心	4.0	4.4	4.8			4.4	4.5	4.8		
3 目的明確さ	4.2	4.5	4.9			4.6	4.7	4.8		
4 教員熱意	4.4	4.5	4.9			4.6	4.7	4.9		
5 話し方明瞭・速さ	4.0	4.5	4.7			4.4	4.5	4.7		
6 学習内容量	4.1	4.5	4.8			4.3	4.6	4.3		
7 教材の工夫	3.9	4.4	4.6			4.4	4.7	4.6		
8 授業名と内容の一致	4.4	4.8	4.9			4.7	4.9	4.9		
9 課題の取り組み	4.2	4.5	4.9			4.3	4.5	4.8		
10 授業への質問	2.9	3.2	3.3			3.2	3.7	4.1		
11 私語などしない	4.1	4.3	4.8			4.1	4.2	4.8		
12 シラバスのチェック	3.1	3.0	3.1			3.1	3.3	3.8		
13 予習・復習	3.2	3.3	3.0			3.3	3.7	4.0		
14 総合満足度	4.1	4.5	4.8			4.4	4.5	4.6		

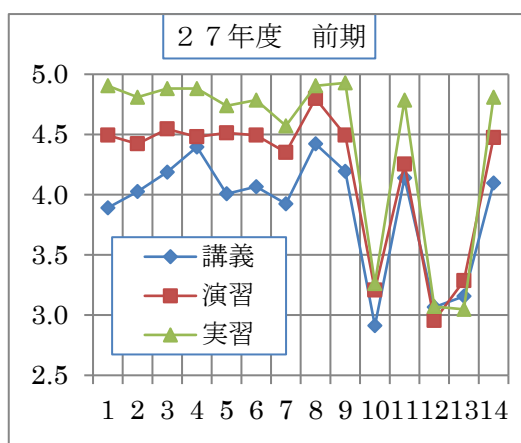


図 8 N 授業形態別 前期

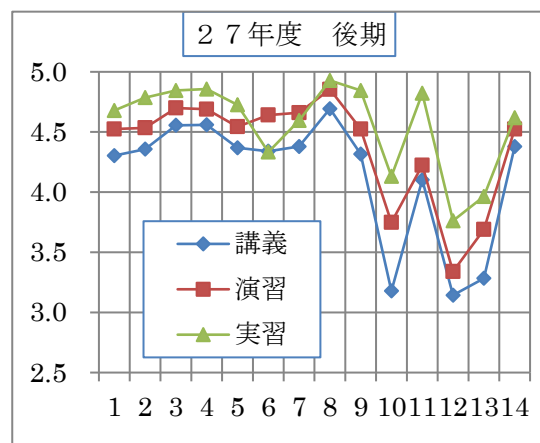


図 9 N 授業形態別 後期

健康栄養学科では、前期は、授業についての評価は講義、演習、実習について大きな差が見られ、評価は、実習、演習、講義の順で高い。学生自身の授業取組みについては、「11 私語」について実習の評価が高く、「14 総合満足度」は実習、演習、講義の順で高い。後期は、おおむね実習、演習、講義の順で同様の傾向で高くなっている。授業についての評価の「6 内容量」で実習が下がっている。「13 予習復習」において、実習、演習の評価が高くなっている。「14 総合満足度」は、同様の評価である。

表 7 家政学科の授業形態別の 14 項目の平均点

家政学科	27年度									
	前期					後期				
	講義	演習	実習	実験	実技	講義	演習	実習	実験	実技
1 内容理解	4.0	4.4	4.4	3.9		4.1	4.4	4.5	4.0	
2 興味関心	4.1	4.6	4.5	4.0		4.1	4.6	4.5	3.9	
3 目的明確さ	4.2	4.6	4.6	4.2		4.3	4.6	4.6	4.4	
4 教員熱意	4.3	4.6	4.4	4.4		4.4	4.6	4.6	4.4	
5 話し方明瞭・速さ	4.1	4.5	4.1	3.9		4.2	4.5	4.5	4.0	
6 学習内容量	4.0	4.6	4.3	3.9		4.2	4.5	4.5	4.1	
7 教材の工夫	4.1	4.5	4.2	4.0		4.1	4.4	4.3	4.2	
8 授業名と内容の一致	4.5	4.8	4.7	4.3		4.5	4.7	4.8	4.5	
9 課題の取り組み	4.1	4.5	4.6	4.2		4.2	4.6	4.5	4.3	
10 授業への質問	2.9	3.8	4.1	3.7		3.2	4.0	3.9	3.9	
11 私語などしない	3.8	4.2	4.4	4.0		3.9	4.4	4.2	4.0	
12 シラバスのチェック	3.0	3.2	3.5	3.2		3.1	3.3	3.5	3.3	
13 予習・復習	3.1	3.5	4.0	3.6		3.2	3.8	4.0	4.0	
14 総合満足度	4.1	4.6	4.5	4.1		4.1	4.5	4.5	4.1	

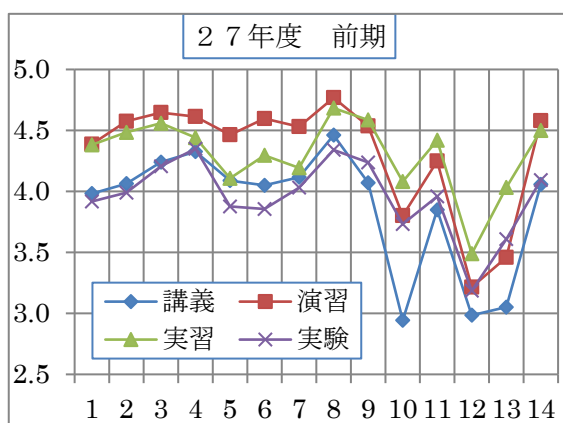


図 10 L 授業形態別 前期

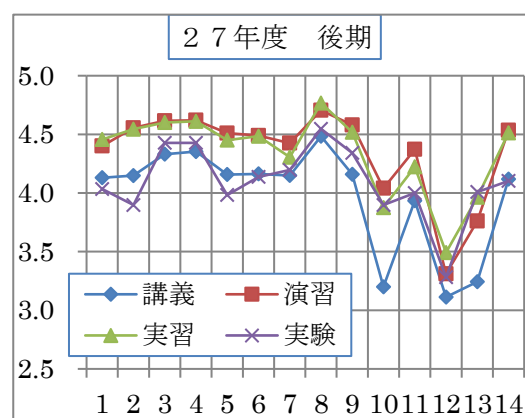


図 11 L 授業形態別 後期

家政学科の前期は、授業についての評価は、おおむね 4 以上の評価になっている学生自身の授業取組みについては「10 質問」において、講義では 3 以下であるが、その他では評価が高い。「13 予習復習」は実習が高く、講義が低い。「14 総合評価」は演習、実習が高く講義、実験が若干低くなっている。後期は、授業についての評価は演習、実習が 4.5 前後であり、講義、実験が 4.0 と 4.5 の間にあり、特に実験の「2 興味関心、5 話し方」で評価が低くなっている。「10 質問」は、講義は低い、他は 4 前後である。「13 予習復習」は講義が低くなっている。「14 総合満足度」は演習、実習が 4.5 で、講義、実験が 4.1 の評価である。

表 8 児童学科の授業形態別の 14 項目の平均点

児童学科	27年度									
	前期					後期				
	講義	演習	実習	実験	実技	講義	演習	実習	実験	実技
1 内容理解	4.0	4.4				4.2	4.4	4.8	4.5	
2 興味関心	4.0	4.4				4.2	4.4	5.0	4.5	
3 目的明確さ	4.2	4.5				4.3	4.5	5.0	5.0	
4 教員熱意	4.3	4.5				4.2	4.6	5.0	4.0	
5 話し方明瞭・速さ	4.1	4.3				4.1	4.3	4.8	4.8	
6 学習内容量	4.2	4.3				4.2	4.4	5.0	4.8	
7 教材の工夫	4.1	4.2				4.1	4.2	4.8	4.8	
8 授業名と内容の一致	4.5	4.6				4.6	4.7	5.0	5.0	
9 課題の取り組み	4.1	4.5				4.2	4.5	4.8	4.5	
10 授業への質問	2.8	3.4				3.1	3.6	4.8	3.0	
11 私語などしない	3.9	4.2				3.9	4.3	4.5	4.3	
12 シラバスのチェック	2.9	2.9				2.8	2.9	3.0	2.0	
13 予習・復習	3.0	3.6				3.2	3.8	4.2	3.0	
14 総合満足度	4.1	4.4				4.2	4.4	5.0	5.0	

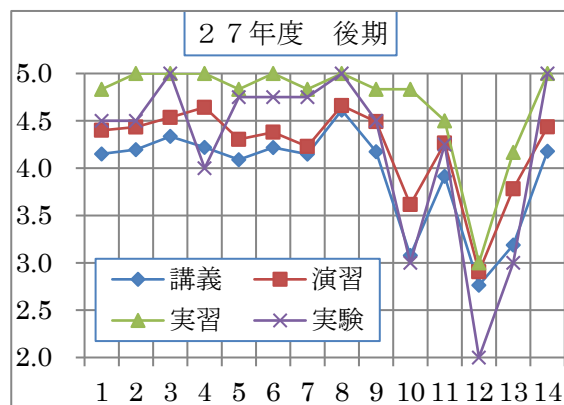
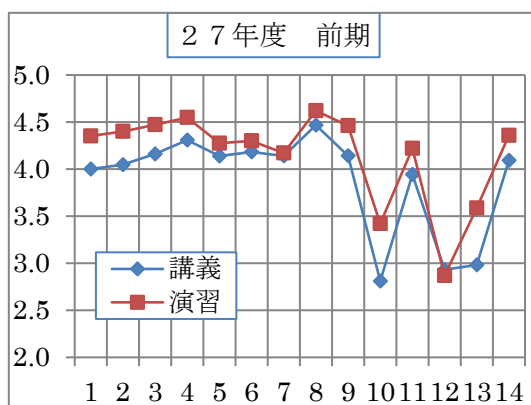


図 12 C 授業形態別 前期

図 13 C 授業形態別 後期

児童学科の前期は、授業についての評価は、講義、演習とも 4 以上である。学生自身の授業取組みについての評価は、「10 質問、13 予習復習」が 3.5 前後である。

「14 総合満足度」は 4 から 4.5 の間である。後期は、授業についての評価は 4 以上で、特に実習の評価が非常に高い。学生自身の授業取組みについての評価は、実習は、「12 シラバス」を除くとその他の項目について非常に高い評価である。講義、実験は「10 質問、13 予習復習」について低い評価になっている。「14 総合満足度」は、実習、実験が非常に高く、次に演習、講義が高くなっている。

(5) 学科別、年度×学科×必修・選択の14項目の平均点

科目が必修か選択で評価に違いがあるかどうかをみるために、科目の必修・選択の区別に各項目の平均点を学科別、年度・前後期別に算出した(表8、表9、表10参照)。

表9 健康栄養学科の必修・選択の14項目の平均点

健康栄養学科	27年度			
	前期		後期	
	必修	選択	必修	選択
1 内容理解	4.1	4.2	4.3	4.4
2 興味関心	4.2	4.2	4.4	4.5
3 目的明確さ	4.3	4.4	4.6	4.6
4 教員熱意	4.5	4.4	4.6	4.6
5 話し方明瞭・速さ	4.1	4.3	4.3	4.4
6 学習内容量	4.2	4.2	4.3	4.4
7 教材の工夫	4.0	4.2	4.4	4.4
8 授業名と内容の一致	4.5	4.7	4.7	4.7
9 課題の取り組み	4.3	4.5	4.4	4.4
10 授業への質問	2.9	3.4	3.4	3.3
11 私語などしない	4.2	4.2	4.3	4.2
12 シラバスのチェック	3.1	3.0	3.3	3.2
13 予習・復習	3.1	3.3	3.5	3.4
14 総合満足度	4.2	4.3	4.4	4.4

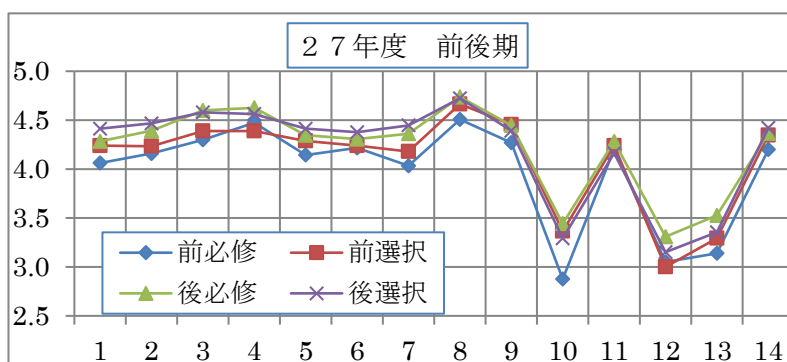


図14 健康栄養学科 必修・選択 前後期

健康栄養学科は、前後期、必修・選択においてあまり差が見られない。ほんの少し必修より選択が、前後期とも評価が上がっている。

表 10 家政学科の必修・選択の14項目の平均点

家政学科	23年度				25年度				27年度			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択
1 内容理解	3.8	4.1	4.2	3.9	3.8	4.1	4.4	4.0	3.9	4.1	4.1	4.3
2 興味関心	3.8	4.2	4.3	4.0	3.9	4.2	4.3	4.1	4.0	4.2	3.9	4.3
3 目的明確さ	4.1	4.3	4.5	4.2	4.1	4.4	4.6	4.3	4.1	4.4	4.3	4.4
4 教員熱意	4.2	4.5	4.5	4.3	4.2	4.4	4.6	4.3	4.1	4.5	4.4	4.5
5 話し方明瞭・速さ	3.7	4.2	4.3	4.0	3.9	4.2	4.4	4.0	3.8	4.2	4.1	4.3
6 学習内容量	3.8	4.2	4.3	4.0	4.0	4.2	4.4	4.1	3.9	4.2	4.1	4.3
7 教材の工夫	3.7	4.2	4.3	4.0	3.8	4.3	4.4	4.1	3.9	4.3	4.1	4.2
8 授業名と内容の一致	4.3	4.5	4.6	4.4	4.4	4.6	4.7	4.5	4.2	4.6	4.5	4.6
9 課題の取り組み	4.2	4.2	4.4	4.1	4.2	4.3	4.5	4.3	4.0	4.3	4.3	4.3
10 授業への質問	2.8	3.0	3.5	3.2	3.1	3.1	3.6	3.3	3.2	3.3	3.4	3.5
11 私語などしない	4.0	4.0	4.2	4.0	4.2	4.1	4.3	4.2	3.8	4.1	4.1	4.1
12 シラバスのチェック	2.8	2.9	3.0	2.8	3.0	3.0	3.2	3.0	3.0	3.1	3.1	3.2
13 予習・復習	3.1	3.1	3.6	3.2	3.2	3.2	3.8	3.4	3.2	3.3	3.6	3.5
14 総合満足度	3.8	4.1	4.3	3.9	3.9	4.2	4.4	4.0	4.0	4.3	4.0	4.3

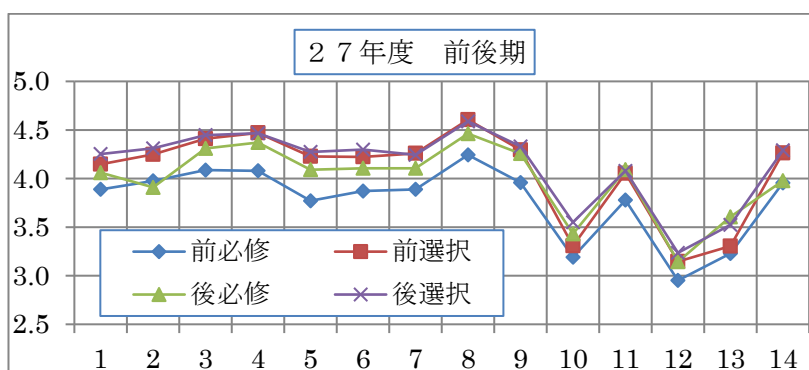


図 15 家政学科 必修・選択 前後期

家政学科は、前後期とも選択が必修より若干評価が上がっている。「14 総合満足度」は必修より選択の評価が少し上がっている。

表 11 児童学科の必修・選択の14項目の平均点

児童学科	23年度				25年度				27年度			
	前期		後期		前期		後期		前期		後期	
	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択
1 内容理解	4.0	4.2	4.2	4.3	4.0	4.2	4.4	4.3	4.0	4.3	4.4	4.3
2 興味関心	4.0	4.3	4.3	4.4	4.0	4.3	4.4	4.4	4.1	4.3	4.4	4.4
3 目的明確さ	4.1	4.4	4.5	4.5	4.2	4.3	4.6	4.5	4.2	4.4	4.5	4.5
4 教員熱意	4.4	4.6	4.6	4.6	4.4	4.5	4.6	4.6	4.3	4.5	4.5	4.5
5 話し方明瞭・速さ	4.1	4.3	4.3	4.3	4.0	4.2	4.4	4.3	4.2	4.2	4.3	4.2
6 学習内容量	4.2	4.3	4.4	4.3	4.1	4.3	4.5	4.3	4.2	4.3	4.4	4.3
7 教材の工夫	4.0	4.2	4.4	4.3	3.9	4.2	4.4	4.3	4.1	4.2	4.3	4.2
8 授業名と内容の一致	4.3	4.5	4.7	4.6	4.4	4.5	4.7	4.6	4.4	4.6	4.7	4.6
9 課題の取り組み	4.2	4.4	4.4	4.4	4.1	4.3	4.3	4.4	4.2	4.4	4.4	4.4
10 授業への質問	3.0	3.1	3.2	3.5	3.0	3.0	3.2	3.5	3.0	3.3	3.3	3.5
11 私語などしない	4.1	4.2	4.1	4.3	4.0	4.1	4.2	4.2	4.0	4.2	4.1	4.2
12 シラバスのチェック	3.0	2.8	2.8	2.9	3.1	2.7	2.9	3.0	3.0	2.9	3.0	2.8
13 予習・復習	3.2	3.4	3.5	3.6	3.2	3.2	3.5	3.7	3.1	3.5	3.5	3.6
14 総合満足度	4.1	4.3	4.4	4.4	4.0	4.2	4.4	4.4	4.1	4.3	4.4	4.4

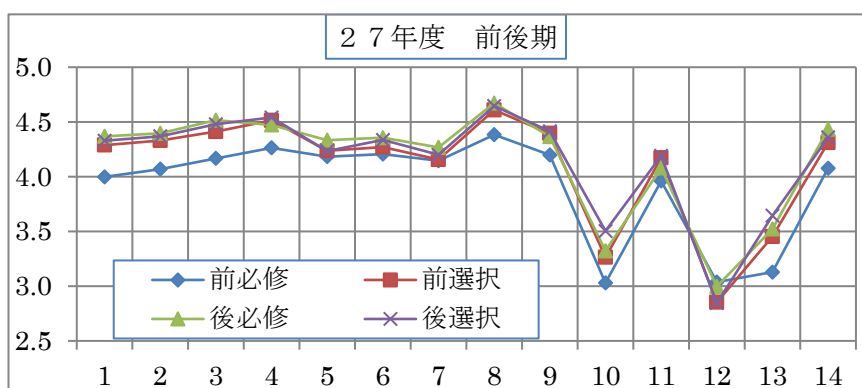


図 16 児童学科 必修・選択 前後期

児童学科は、前期必修が評価が低く、他はほぼ同様の評価である。

(6) 年度×学科×科目(共通[一般]・専門・教職)の 14 項目の平均点

科目が共通教養科目（外国語・体育を含む）・専門教育科目・教職に関する科目で評価に違いがあるかどうかをみるために、科目の系列の区分別に各項目の平均点を学科別、年度・前後期別に算出した(表 10、表 11、表 12 参照)。

なお、共通教養科目は、ほぼ 1 年次の開講である。

表 12 健康栄養学科の科目(共通[一般]・専門・教職)の 14 項目の平均点

健康栄養学科	27年度									
	前期					後期				
	共通教養科目	外国語科目	保健体育科目	専門教育科目	教職に関する科目	共通教養科目	外国語科目	保健体育科目	専門教育科目	教職に関する科目
1 内容理解	3.8	4.3	4.9	4.2		4.3	4.6	4.9	4.3	
2 興味関心	3.8	4.2	4.8	4.4		4.2	4.6	4.9	4.4	
3 目的明確さ	4.0	4.4	4.9	4.5		4.6	4.7	4.9	4.5	
4 教員熱意	4.3	4.4	4.9	4.6		4.6	4.8	4.9	4.6	
5 話し方明瞭・速さ	4.0	4.4	4.8	4.2		4.3	4.6	4.9	4.3	
6 学習内容量	4.1	4.3	4.8	4.2		4.5	4.6	4.9	4.2	
7 教材の工夫	3.8	4.1	4.6	4.3		4.4	4.7	4.6	4.3	
8 授業名と内容の一致	4.2	4.7	4.9	4.7		4.8	4.8	5.0	4.7	
9 課題の取り組み	4.1	4.3	5.0	4.4		4.4	4.5	4.9	4.4	
10 授業への質問	3.0	3.1	3.3	2.9		3.4	3.8	4.0	3.3	
11 私語などしない	4.1	4.2	4.8	4.3		4.1	4.2	4.9	4.2	
12 シラバスのチェック	3.0	2.9	3.1	3.1		3.2	3.4	3.5	3.2	
13 予習・復習	2.9	3.4	3.0	3.4		3.3	3.8	3.7	3.4	
14 総合満足度	4.0	4.2	4.8	4.4		4.3	4.6	4.8	4.3	

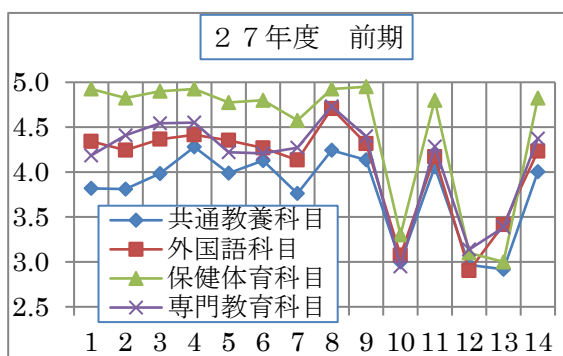


図 17 健康栄養学科 科目 前期

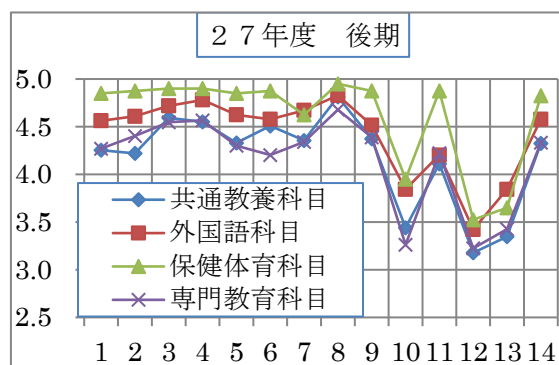


図 18 健康栄養学科 科目 後期

健康栄養学科は、前期は、保健体育科目は非常に高い評価である。外国語科目と専門教育科目は同様の傾向であり、共通教養科目が低くなっている。後期は、保健体育科目が前期と同様に高く、共通教養科目も高くなっている。「14 総合満足度」は、後期は 4.5 前後の評価になっている。

表 13 家政学科の科目(共通[一般]・専門・教職)の 14 項目の平均点

家政学科	25年度										27年度									
	前期					後期					前期					後期				
	共通教養科目	外国語科目	保健体育科目	専門教育科目	教職に関する科目	共通教養科目	外国語科目	保健体育科目	専門教育科目	教職に関する科目	共通教養科目	外国語科目	保健体育科目	専門教育科目	教職に関する科目	共通教養科目	外国語科目	保健体育科目	専門教育科目	教職に関する科目
1 内容理解	3.8	3.9	4.7	4.0	4.3	3.9	4.4	4.8	4.1	4.3	4.0	4.4		4.0	4.4	4.3	4.3	4.3	4.2	4.3
2 興味関心	3.8	4.1	4.6	4.1	4.2	3.9	4.6	4.7	4.1	4.2	5.0	4.5		4.1	4.4	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2
3 目的明確さ	4.0	4.5	4.8	4.3	4.5	4.1	4.8	4.8	4.3	4.5	5.0	4.7		4.3	4.5	4.2	4.3	4.2	4.4	4.4
4 教員熱意	4.3	4.5	4.9	4.3	4.5	4.2	4.8	4.9	4.3	4.4	5.0	4.6		4.3	4.6	4.4	4.5	4.4	4.5	4.4
5 話し方明瞭・速さ	3.9	4.4	4.7	4.0	4.5	3.9	4.6	4.7	4.0	4.5	4.0	4.5		4.1	4.4	4.2	4.2	4.2	4.2	4.3
6 学習内容量	4.0	4.2	4.8	4.1	4.3	4.0	4.6	4.8	4.2	4.5	4.0	4.5		4.1	4.5	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3
7 教材の工夫	3.8	4.3	4.0	4.1	4.5	4.0	4.5	4.3	4.1	4.4	5.0	4.8		4.1	4.4	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2
8 授業名と内容の一致	4.3	4.7	4.8	4.5	4.7	4.2	4.8	4.9	4.5	4.7	5.0	4.8		4.5	4.6	4.4	4.4	4.4	4.6	4.5
9 課題の取り組み	4.1	4.3	4.7	4.3	4.3	4.2	4.6	4.8	4.3	4.4	4.0	4.3		4.2	4.3	4.3	4.4	4.3	4.3	4.2
10 授業への質問	3.0	3.3	3.8	3.2	2.9	3.5	3.8	4.1	3.3	3.2	1.0	3.2		3.3	3.2	3.3	3.3	3.3	3.5	3.6
11 私語などしない	4.1	4.2	4.7	4.1	4.2	4.2	4.5	4.8	4.1	4.2	5.0	4.2		4.0	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1	4.2
12 シラバスのチェック	2.9	3.0	3.4	3.0	2.8	3.2	3.3	3.6	3.0	2.8	3.0	2.9		3.1	3.3	3.2	3.1	3.2	3.2	3.3
13 予習・復習	3.1	3.7	3.6	3.2	2.9	3.6	4.3	4.4	3.4	3.3	3.0	3.3		3.3	3.3	3.2	3.3	3.2	3.5	3.5
14 総合満足度	3.9	4.2	4.7	4.1	4.3	3.9	4.6	4.7	4.1	4.3	5.0	4.7		4.2	4.4	4.1	4.1	4.1	4.3	4.2

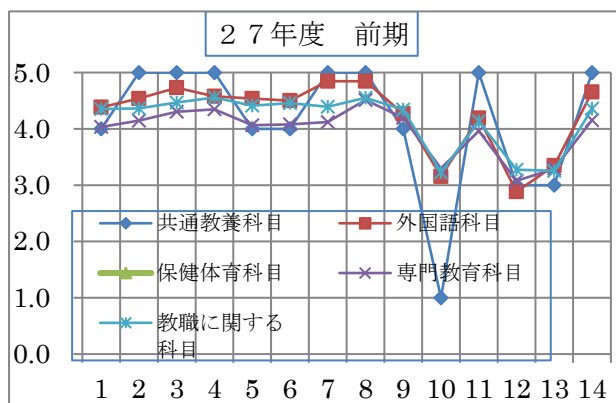


図 19 家政学科 科目 前期

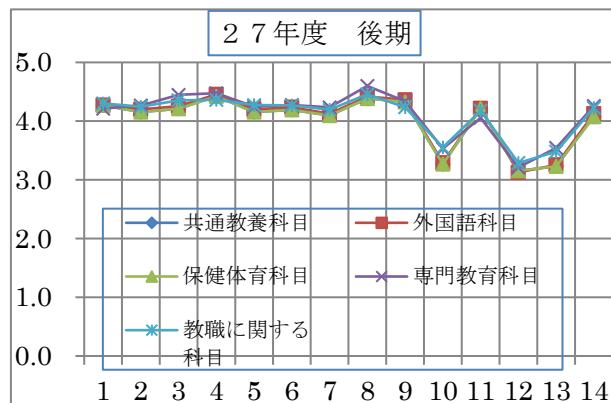


図 20 家政学科 科目 後期

家政学科の共通教養科目の「10 授業への質問」は受講生が1名のため、学生の評価がそのまま反映されている。

表 14 児童学科の科目(共通[一般]・専門・教職)の14項目の平均点

児童学科	25年度													27年度														
	前期						後期							前期						後期								
	共通教養科目	外国語科目	保健体育科目	専門教育科目			共通教養科目	外国語科目	保健体育科目	専門教育科目				共通教養科目	外国語科目	保健体育科目	専門教育科目			共通教養科目	外国語科目	保健体育科目	専門教育科目					
1 内容理解	3.9	4.4	4.8	3.9	4.5	4.3	4.2	4.0	4.5	4.8	4.3	4.5	4.3	4.3	4.1	4.4	4.9	4.0	4.3	4.4	4.2	4.1	4.4	4.8	4.2	4.5	4.3	4.3
2 興味関心	4.0	4.5	4.7	4.0	4.5	4.3	4.3	4.0	4.7	4.8	4.4	4.5	4.3	4.4	4.2	4.6	4.7	4.0	4.4	4.4	4.3	4.1	4.5	4.7	4.3	4.5	4.4	4.4
3 目的明確さ	4.0	4.6	4.8	4.0	4.7	4.3	4.3	4.3	4.7	4.9	4.5	4.7	4.5	4.4	4.3	4.6	4.9	4.1	4.4	4.5	4.3	4.4	4.6	4.8	4.4	4.6	4.4	4.5
4 教員熱意	4.4	4.8	4.9	4.2	4.8	4.6	4.3	4.6	4.8	4.8	4.5	4.7	4.5	4.6	4.5	4.6	4.9	4.2	4.6	4.6	4.3	4.4	4.5	4.9	4.3	4.7	4.5	4.5
5 話し方明瞭・速さ	4.1	4.6	4.9	3.8	4.5	4.2	4.2	4.0	4.7	4.8	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.6	4.8	4.1	4.1	4.3	4.2	4.0	4.5	4.8	4.2	4.4	4.2	4.3
6 学習内容量	4.2	4.5	4.9	3.9	4.5	4.2	4.2	4.1	4.6	4.7	4.4	4.5	4.3	4.3	4.3	4.5	4.7	4.1	4.2	4.3	4.2	4.1	4.5	4.8	4.3	4.4	4.3	4.4
7 教材の工夫	3.9	4.6	3.5	4.1	4.2	4.2	4.1	4.1	4.5	4.1	4.5	4.3	4.4	4.4	4.1	4.6	4.4	4.2	3.9	4.3	4.2	4.2	4.5	4.0	4.3	4.0	4.3	4.2
8 授業名と内容の一致	4.4	4.8	4.9	4.4	4.8	4.4	4.5	4.5	4.9	4.9	4.6	4.8	4.6	4.5	4.6	4.8	5.0	4.3	4.6	4.6	4.6	4.7	4.8	4.9	4.6	4.7	4.6	4.6
9 課題の取り組み	4.1	4.4	4.9	4.0	4.6	4.3	4.1	4.4	4.5	4.9	4.2	4.6	4.4	4.1	4.5	4.6	4.9	4.1	4.5	4.4	4.2	4.4	4.6	4.9	4.2	4.6	4.4	4.2
10 授業への質問	3.1	3.5	3.9	2.9	3.5	2.8	2.9	3.5	3.7	3.8	3.2	3.8	3.3	3.2	3.2	3.6	3.7	3.0	3.4	3.3	2.9	3.6	3.6	4.0	3.2	3.8	3.4	3.1
11 私語などしない	4.1	4.3	4.9	3.8	4.4	4.1	3.8	4.2	4.3	4.9	4.0	4.4	4.2	4.0	4.3	4.3	4.7	3.8	4.4	4.1	3.9	4.2	4.3	4.7	3.9	4.4	4.1	4.0
12 シラバスのチェック	3.2	3.3	3.6	2.7	2.9	2.5	2.6	3.1	3.1	3.4	2.8	3.1	3.0	2.7	3.4	3.1	3.5	2.8	2.9	2.8	3.3	3.3	3.3	3.4	2.7	2.8	2.9	2.6
13 予習・復習	3.2	3.9	3.8	2.7	3.7	3.1	2.9	3.7	4.1	4.3	3.2	4.2	3.6	3.1	3.5	3.9	3.9	2.9	3.7	3.5	3.1	3.7	3.9	4.2	3.1	4.1	3.6	3.2
14 総合満足度	4.0	4.5	4.8	3.9	4.6	4.2	4.1	4.1	4.6	4.7	4.4	4.5	4.3	4.3	4.3	4.6	4.8	4.0	4.4	4.3	4.2	4.3	4.6	4.8	4.3	4.5	4.3	4.3

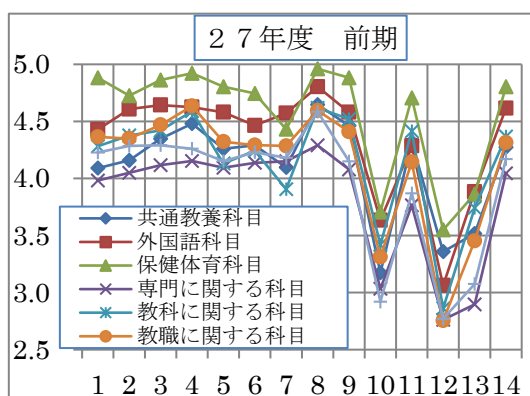


図 21 児童学科 科目 前期

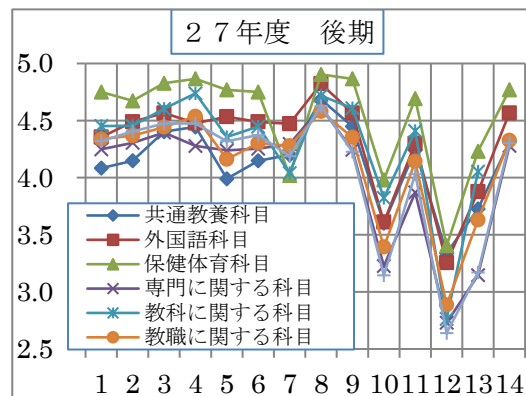


図 22 児童学科 科目 後期

児童学科は、前期は、保健体育科目、専門教育科目の評価が高い。その中で、保健体育科目の「7教材の工夫」が低い。共通教養科目と専門教育科目を比較すると、専門教育科目の中の専門が、前期は、「授業についての評価」(項目1～8)において、教員の熱意(項目4)、話し方(項目5)、学習内容量(項目6)が低く、その他の項目は高い。「学生自身の授業取組みについての評価」(項目9～13)では、全て専門が低い。

後期は、「授業についての評価」全般で全ての評価が高い。「学生自身の授業取組みについての評価」(項目9～13)で、「私語などしない」(項目11)が高いが、その他の項目は低い。

(7) 各授業科目の平均点の分布

項目 14「総合満足度」に関して、学生の評価の高い授業あるいは低い授業がどれだけあるかをみるために、各授業科目の平均点の分布をヒストグラムにあらわした。ここでは学科別に 27 年度の前期・後期に分けた。①4.5 以上、②4.5 未満-4.0 以上、③4.0 未満-3.5 以上、④3.5 未満-3.0 以上、⑤3.0 未満-2.5 以上、⑥2.5 未満-2.0 以上、⑦2.0 未満、の 7 区間に区分して平均点の分布をみる。

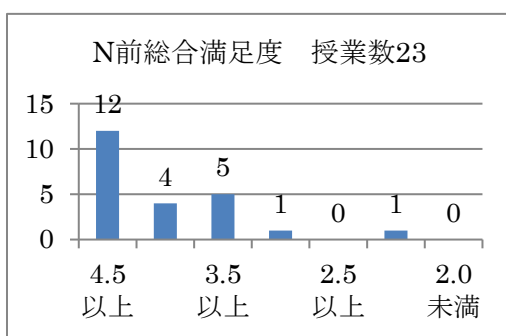


図 23 27 年度 健康栄養学科 前期

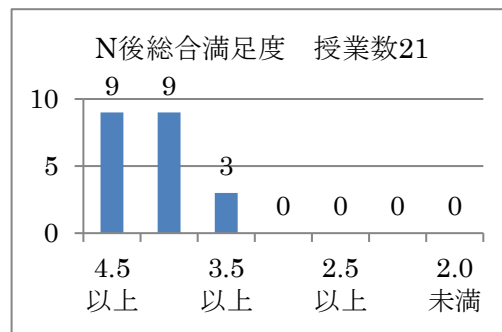


図 24 27 年度 健康栄養学科 後期

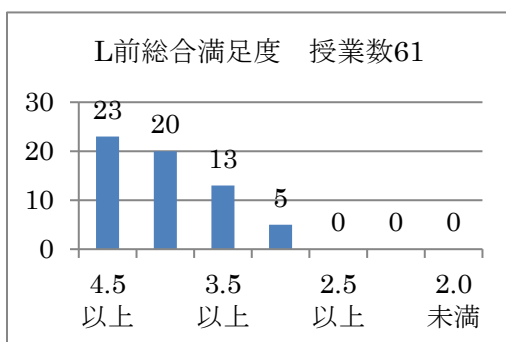


図 25 27 年度 家政学科 前期

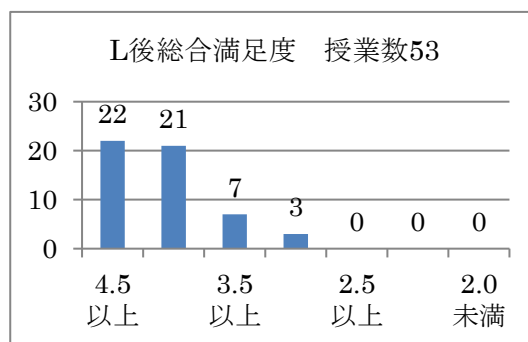


図 26 27 年度 家政学科 後期

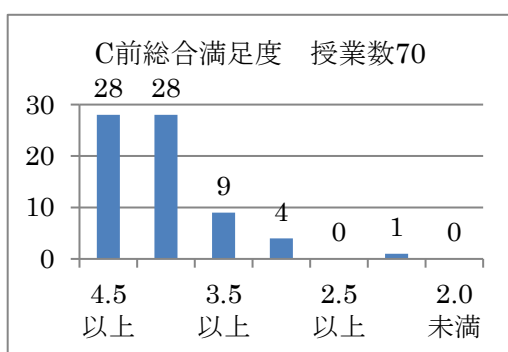


図 27 27 年度 児童学科 前期

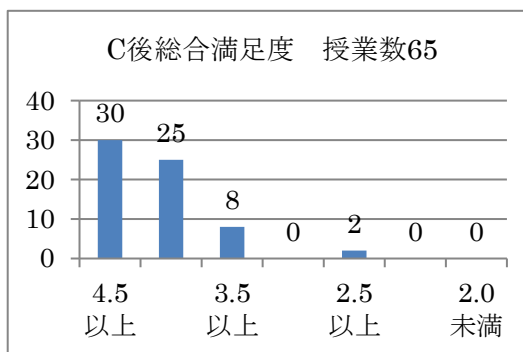


図 28 27 年度 児童学科 後期

健康栄養学科は、前期は 4 以上がほぼ 7 割であるが、後期は 8 割以上になり、4 以上に偏っている。家政学科は、前期は 4 以上が 7 割であり、後期は、8 割以上になり、4 以上に偏っている。児童学科は、前期は 4 以上が 8 割であり、後期は 8 割以上になり、4 以上に偏っている。

(8) 学科別の相関係数表

ここでは、項目間の関係性を見るために設問項目同士の相関係数を、学科別、前後期別に求めた。

表 15 健康栄養学科 相関係数 前期

N前	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	Q 9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q 1	1	0.77	0.7	0.51	0.63	0.63	0.6	0.63	0.55	0.23	0.29	0.12	0.25	0.73
Q 2	0.77	1	0.75	0.57	0.56	0.58	0.62	0.65	0.58	0.2	0.35	0.14	0.28	0.76
Q 3	0.7	0.75	1	0.6	0.59	0.6	0.61	0.75	0.52	0.18	0.3	0.11	0.22	0.74
Q 4	0.51	0.57	0.6	1	0.56	0.53	0.51	0.55	0.37	0.03	0.16	-0	0.04	0.52
Q 5	0.63	0.56	0.59	0.56	1	0.71	0.64	0.52	0.48	0.18	0.21	0.06	0.11	0.61
Q 6	0.63	0.58	0.6	0.53	0.71	1	0.61	0.55	0.49	0.13	0.27	0.08	0.11	0.63
Q 7	0.6	0.62	0.61	0.51	0.64	0.61	1	0.53	0.5	0.12	0.32	0.19	0.23	0.66
Q 8	0.63	0.65	0.75	0.55	0.52	0.55	0.53	1	0.53	0.12	0.29	0.06	0.22	0.64
Q 9	0.55	0.58	0.52	0.37	0.48	0.49	0.5	0.53	1	0.28	0.61	0.2	0.31	0.62
Q10	0.23	0.2	0.18	0.03	0.18	0.13	0.12	0.12	0.28	1	0.19	0.4	0.43	0.25
Q11	0.29	0.35	0.3	0.16	0.21	0.27	0.32	0.29	0.61	0.19	1	0.23	0.27	0.39
Q12	0.12	0.14	0.11	-0	0.06	0.08	0.19	0.06	0.2	0.4	0.23	1	0.59	0.14
Q13	0.25	0.28	0.22	0.04	0.11	0.11	0.23	0.22	0.31	0.43	0.27	0.59	1	0.27
Q14	0.73	0.76	0.74	0.52	0.61	0.63	0.66	0.64	0.62	0.25	0.39	0.14	0.27	1

表 16 健康栄養学科 相関係数 後期

N後	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	Q 9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q 1	1	0.74	0.58	0.52	0.61	0.56	0.57	0.48	0.42	0.36	0.24	0.22	0.24	0.68
Q 2	0.74	1	0.66	0.59	0.61	0.55	0.57	0.56	0.55	0.36	0.39	0.27	0.31	0.72
Q 3	0.58	0.66	1	0.7	0.61	0.54	0.62	0.67	0.47	0.22	0.35	0.15	0.17	0.68
Q 4	0.52	0.59	0.7	1	0.59	0.49	0.61	0.59	0.45	0.2	0.37	0.17	0.18	0.6
Q 5	0.61	0.61	0.61	0.59	1	0.69	0.6	0.53	0.42	0.28	0.34	0.16	0.2	0.69
Q 6	0.56	0.55	0.54	0.49	0.69	1	0.52	0.48	0.36	0.23	0.27	0.14	0.16	0.71
Q 7	0.57	0.57	0.62	0.61	0.6	0.52	1	0.48	0.44	0.17	0.33	0.22	0.21	0.68
Q 8	0.48	0.56	0.67	0.59	0.53	0.48	0.48	1	0.44	0.16	0.26	0.12	0.13	0.56
Q 9	0.42	0.55	0.47	0.45	0.42	0.36	0.44	0.44	1	0.32	0.7	0.33	0.35	0.53
Q10	0.36	0.36	0.22	0.2	0.28	0.23	0.17	0.16	0.32	1	0.36	0.52	0.55	0.28
Q11	0.24	0.39	0.35	0.37	0.34	0.27	0.33	0.26	0.7	0.36	1	0.38	0.39	0.39
Q12	0.22	0.27	0.15	0.17	0.16	0.14	0.22	0.12	0.33	0.52	0.38	1	0.77	0.23
Q13	0.24	0.31	0.17	0.18	0.2	0.16	0.21	0.13	0.35	0.55	0.39	0.77	1	0.24
Q14	0.68	0.72	0.68	0.6	0.69	0.71	0.68	0.56	0.53	0.28	0.39	0.23	0.24	1

表 17 家政学科 相関係数 前期

L前	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	Q 9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q 1	1	0.77	0.62	0.49	0.53	0.64	0.47	0.53	0.54	0.35	0.44	0.29	0.35	0.67
Q 2	0.77	1	0.66	0.54	0.54	0.63	0.51	0.58	0.58	0.37	0.45	0.29	0.36	0.72
Q 3	0.62	0.66	1	0.63	0.57	0.61	0.55	0.7	0.52	0.31	0.38	0.22	0.28	0.65
Q 4	0.49	0.54	0.63	1	0.6	0.58	0.55	0.56	0.54	0.2	0.44	0.19	0.19	0.55
Q 5	0.53	0.54	0.57	0.6	1	0.7	0.61	0.51	0.46	0.23	0.35	0.19	0.19	0.57
Q 6	0.64	0.63	0.61	0.58	0.7	1	0.62	0.56	0.55	0.28	0.43	0.24	0.25	0.65
Q 7	0.47	0.51	0.55	0.55	0.61	0.62	1	0.53	0.46	0.25	0.35	0.25	0.24	0.52
Q 8	0.53	0.58	0.7	0.56	0.51	0.56	0.53	1	0.51	0.19	0.34	0.14	0.19	0.61
Q 9	0.54	0.58	0.52	0.54	0.46	0.55	0.46	0.51	1	0.4	0.68	0.32	0.39	0.61
Q10	0.35	0.37	0.31	0.2	0.23	0.28	0.25	0.19	0.4	1	0.38	0.53	0.62	0.4
Q11	0.44	0.45	0.38	0.44	0.35	0.43	0.35	0.34	0.68	0.38	1	0.33	0.42	0.49
Q12	0.29	0.29	0.22	0.19	0.19	0.24	0.25	0.14	0.32	0.53	0.33	1	0.63	0.34
Q13	0.35	0.36	0.28	0.19	0.19	0.25	0.24	0.19	0.39	0.62	0.42	0.63	1	0.4
Q14	0.67	0.72	0.65	0.55	0.57	0.65	0.52	0.61	0.61	0.4	0.49	0.34	0.4	1

表 18 家政学科 相関係数 後期

	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	Q 9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q 1	1	0.73	0.57	0.53	0.57	0.57	0.49	0.47	0.49	0.36	0.4	0.3	0.33	0.61
Q 2	0.73	1	0.61	0.59	0.6	0.63	0.51	0.52	0.54	0.34	0.39	0.24	0.27	0.68
Q 3	0.57	0.61	1	0.67	0.58	0.64	0.56	0.71	0.45	0.26	0.34	0.2	0.25	0.61
Q 4	0.53	0.59	0.67	1	0.64	0.64	0.59	0.57	0.51	0.33	0.36	0.24	0.29	0.64
Q 5	0.57	0.6	0.58	0.64	1	0.74	0.57	0.49	0.44	0.29	0.33	0.22	0.24	0.63
Q 6	0.57	0.63	0.64	0.64	0.74	1	0.63	0.59	0.48	0.32	0.37	0.26	0.3	0.68
Q 7	0.49	0.51	0.56	0.59	0.57	0.63	1	0.56	0.42	0.35	0.37	0.33	0.34	0.59
Q 8	0.47	0.52	0.71	0.57	0.49	0.59	0.56	1	0.43	0.19	0.28	0.11	0.17	0.59
Q 9	0.49	0.54	0.45	0.51	0.44	0.48	0.42	0.43	1	0.48	0.63	0.33	0.44	0.57
Q10	0.36	0.34	0.26	0.33	0.29	0.32	0.35	0.19	0.48	1	0.52	0.57	0.64	0.42
Q11	0.4	0.39	0.34	0.36	0.33	0.37	0.37	0.28	0.63	0.52	1	0.47	0.55	0.48
Q12	0.3	0.24	0.2	0.24	0.22	0.26	0.33	0.11	0.33	0.57	0.47	1	0.67	0.34
Q13	0.33	0.27	0.25	0.29	0.24	0.3	0.34	0.17	0.44	0.64	0.55	0.67	1	0.4
Q14	0.61	0.68	0.61	0.64	0.63	0.68	0.59	0.59	0.57	0.42	0.48	0.34	0.4	1

表 19 児童学科 相関係数 前期

C前	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	Q 9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q 1	1	0.77	0.68	0.55	0.58	0.6	0.49	0.56	0.56	0.34	0.39	0.21	0.33	0.71
Q 2	0.77	1	0.72	0.58	0.58	0.62	0.53	0.62	0.59	0.34	0.4	0.23	0.31	0.75
Q 3	0.68	0.72	1	0.63	0.6	0.61	0.54	0.68	0.55	0.32	0.39	0.21	0.31	0.69
Q 4	0.55	0.58	0.63	1	0.57	0.54	0.5	0.54	0.48	0.26	0.35	0.19	0.3	0.6
Q 5	0.58	0.58	0.6	0.57	1	0.68	0.54	0.53	0.46	0.28	0.33	0.21	0.26	0.61
Q 6	0.60	0.62	0.61	0.54	0.68	1	0.55	0.56	0.47	0.24	0.32	0.19	0.24	0.66
Q 7	0.49	0.53	0.54	0.5	0.54	0.55	1	0.53	0.36	0.24	0.24	0.2	0.18	0.53
Q 8	0.56	0.62	0.68	0.54	0.53	0.56	0.53	1	0.51	0.27	0.33	0.18	0.27	0.64
Q 9	0.56	0.59	0.55	0.48	0.46	0.47	0.36	0.51	1	0.41	0.63	0.3	0.45	0.61
Q10	0.34	0.34	0.32	0.26	0.28	0.24	0.24	0.27	0.41	1	0.39	0.41	0.53	0.36
Q11	0.39	0.40	0.39	0.35	0.33	0.32	0.24	0.33	0.63	0.39	1	0.37	0.44	0.43
Q12	0.21	0.23	0.21	0.19	0.21	0.19	0.2	0.18	0.3	0.41	0.37	1	0.5	0.26
Q13	0.33	0.31	0.31	0.30	0.26	0.24	0.18	0.27	0.45	0.53	0.44	0.5	1	0.36
Q14	0.71	0.75	0.69	0.6	0.61	0.66	0.53	0.64	0.61	0.36	0.43	0.26	0.36	1

表 20 児童学科 相関係数 後期

C後	Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6	Q 7	Q 8	Q 9	Q10	Q11	Q12	Q13	Q14
Q 1	1	0.72	0.62	0.47	0.49	0.55	0.4	0.51	0.51	0.26	0.37	0.17	0.31	0.63
Q 2	0.72	1	0.66	0.54	0.52	0.61	0.48	0.52	0.56	0.31	0.4	0.21	0.33	0.69
Q 3	0.62	0.66	1	0.59	0.53	0.59	0.48	0.63	0.48	0.27	0.32	0.16	0.31	0.61
Q 4	0.47	0.54	0.59	1	0.52	0.55	0.46	0.46	0.48	0.28	0.38	0.16	0.32	0.59
Q 5	0.49	0.52	0.53	0.52	1	0.66	0.47	0.45	0.4	0.26	0.28	0.17	0.26	0.54
Q 6	0.55	0.61	0.59	0.55	0.66	1	0.54	0.51	0.46	0.26	0.32	0.19	0.27	0.61
Q 7	0.4	0.48	0.48	0.46	0.47	0.54	1	0.45	0.36	0.23	0.27	0.27	0.23	0.5
Q 8	0.51	0.52	0.63	0.46	0.45	0.51	0.45	1	0.47	0.22	0.31	0.09	0.23	0.57
Q 9	0.51	0.56	0.48	0.48	0.4	0.46	0.36	0.47	1	0.45	0.64	0.3	0.49	0.59
Q10	0.26	0.31	0.27	0.28	0.26	0.26	0.23	0.22	0.45	1	0.43	0.43	0.54	0.35
Q11	0.37	0.4	0.32	0.38	0.28	0.32	0.27	0.31	0.64	0.43	1	0.37	0.49	0.44
Q12	0.17	0.21	0.16	0.16	0.17	0.19	0.27	0.09	0.3	0.43	0.37	1	0.53	0.25
Q13	0.31	0.33	0.31	0.32	0.26	0.27	0.23	0.23	0.49	0.54	0.49	0.53	1	0.41
Q14	0.63	0.69	0.61	0.59	0.54	0.61	0.5	0.57	0.59	0.35	0.44	0.25	0.41	1

「14 総合満足度」と相関係数が 0.65 以上との項目を見てみる。

健康栄養学科は、前期は「14 総合満足度」と相関が高い項目は「1 内容理解、2 興味関心、3 目的」で、0.65～0.7 未満は「7 教材の工夫」、後期は「2 興味関心、6 学習内容量」で、0.65～0.7 未満は「1 内容理解、3 目的、5 話し方、7 教材の工夫」である。家政学科は、前期は、「2 興味関心」で、0.65～0.7 未満は「1 内容理解、3 目的、6 学習内容量」で、後期は 0.7 以上は無く、0.65～0.7 未満は「2 興味関心、6 学習内容量」である。児童学科は、前期は「1 内容理解、2 興味関心」で、0.65～0.7 未満は「3 目的、6 学習内容量」で、後期は 0.7 以上は無く、0.65～0.7 未満は「2 興味関心」である。

全学科で「13 予習・復習」と「10 授業への質問」、「12 シラバス」との相関係数の値が高くなっている。

(9) 学科×学年×前後期 の重回帰分析

「14 総合満足度」にどの項目が関連しているのか見るために、学科別、学年別、前後期別に重回帰分析を行った。「14 総合満足度」を従属変数、他の項目を独立変数とし、全体の傾向を見るため全ての独立変数を一度に投入する強制投入法で行った。独立変数の VIF（分散拡大係数）は全て 4 以下であり、多重共線性はないと言える。決定係数 R^2 の値は強制投入法であるので、重回帰式のあてはまりの参考にしない。**（1%有意）がついて値が大きい項目ほど「14 総合満足度」に影響を与える項目と言える。今回は全体的傾向を見るため交互作用は調べなかった。

表 21 学科×学年 重回帰分析 前期

標準化係数	従属変数 = Q14総合的に判断してこの授業に満足した											
	27年 前期											
	健康栄養				家政学科				児童学科			
変数名	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
1 内容理解	.15**	.05	.07	.20**	.13**	.20**	.12**	.05				
2 興味関心	.23**	.28**	.17**	.27**	.25**	.15**	.37**	.17**				
3 目的明確さ	.20**	.08+	.12*	.09	.07*	.03	.10**	.11+				
4 教員熱意	-.02	.04	.04	.00	.12**	.10**	.00	.10*				
5 話し方明瞭・速さ	.03	.10*	.05	.06	.03	.06*	.06+	.05				
6 学習内容量	.08*	.05	.16**	.13*	.20**	.15**	.12**	.09+				
7 教材の工夫	.15**	.02	-.02	.05	.04	.04+	.04	-.02				
8 授業名と内容の一致	.03	.19**	.13**	.05	.06*	.19**	.06*	.22**				
9 課題の取り組み	.11**	.08+	.12**	.13**	.07*	.10**	.10**	.20**				
10 授業への質問	.07**	.03	.06	.07	-.01	.05*	.03	.00				
11 私語などしない	.04	.04	.06	.10*	.02	-.04	.03	.05				
12 シラバスのチェック	-.04	.05	.06+	-.05	.03	-.01	.04	.01				
13 予習・復習	.02	.06+	.08+	.06	.06*	.02	.03	.01				
R^2	.72**	.67**	.60**	.80**	.67**	.73**	.71**	.69**				
	** $p < .01$, * $p < .05$, + $p < .10$											

表 22 学科×学年 重回帰分析 後期

標準化係数	従属変数 = Q14総合的に判断してこの授業に満足した											
	27年 後期											
	健康栄養		家政学科				児童学科					
変数名	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
1 内容理解	.13**	.01	.07	.21**	.14**	.12**	.19**	.10				
2 興味関心	.18**	.13**	.29**	.16+	.21**	.24**	.22**	.20*				
3 目的明確さ	.12**	.04	-.05	.08	.00	.02	-.01	.06				
4 教員熱意	.00	.13**	.05	.06	.18**	.16**	.07*	.07				
5 話し方明瞭・速さ	.07*	.16**	-.02	.20**	.09*	.05	-.01	.05				
6 学習内容量	.28**	.08+	.25**	.06	.13**	.11**	.06+	.04				
7 教材の工夫	.18**	.08*	.02	.02	.10**	.05	.10**	.05				
8 授業名と内容の一致	.02	.16**	.22**	.04	.10**	.07*	.21**	.12+				
9 課題の取り組み	.08*	.10*	.01	.11	.09**	.11**	.11**	.19**				
10 授業への質問	-.02	-.04	.07+	.09	-.05+	.03	.07*	.04				
11 私語などしない	.04	.11**	.09*	.09	-.02	.03	.02	.07				
12 シラバスのチェック	.04	.02	.06+	-.05	-.01	-.01	-.01	.00				
13 予習・復習	-.02	.11*	.01	.09	.15**	.08**	.04	.07				
R^2	.73**	.75**	.61**	.65**	.71**	.58**	.67**	.58**				

** $p < .01$, * $p < .05$, + $p < .10$

各科学年で「14 総合満足度」に影響を与える項目が違っている。健康栄養学科1年は、「2 興味関心・3 目的の明確さ・1 内容理解・7 教材の工夫」等である。家政学科では、2年は「2 興味関心・1 内容の一致」、3年は「2 興味関心・6 内容量・8 内容の一致・9 課題への取り組み」、4年は「2 興味関心・1 内容理解・9 課題への取り組み」である。児童学科では、1年は「2 興味関心・6 内容量・1 内容理解」、2年は「1 内容理解・8 内容一致・2 興味関心・4 教員熱意・9 課題取組」、3年は「2 興味関心・1 内容理解・6 内容量・3 目的の明確さ・9 課題取組」、4年は「8 内容一致・9 課題取組・2 興味関心」である。全てに共通しているのは、「2 興味関心」であり、次に「9 課題の取り組み、1 内容理解」である。

全体的に見ると、前期は学科、学年で、「2 興味関心」、「1 内容理解」、「9 課題の取り組み」が影響を与える項目となっている。後期は、学科、学年で違いが見られる。健康栄養学科1年は「3 目的明確さ」の値が大きい。家政学科4年は「1 内容理解」「5 話し方」で、児童学科4年は「2 興味関心」「9 課題の取り組み」の2つが「14 総合満足度」に影響を与える項目になっている。

有意でないが、偏回帰係数がマイナスの項目がある。総合満足度に負の影響を与える項目である。健康栄養学科1年は「4 教員熱意、12 シラバスのチェック」、「10 授業への質問、13 予習・復習」、家政学科3年は「7 教材の工夫」、「3 目的、5 話し方」、4年は「12 シラバスのチェック」、児童学科1年は「10 授業への質問、11 私語、12 シラバス」児童学科2年は「11 私語などしない、12 シラバスのチェック」、4年は「7 教材の工夫」である。

(10) まとめ

今回は、今までの分析に加え、全学科、前後期の全項目の相関係数と、「14 総合満足度」について重回帰分析を行った。相関係数表と重回帰分析から、「授業についての評価」(項目 1~8)は学生が授業と担当教師に対しての評価、「学生自身の評価」(項目 9~13)は学生自身の評価、「14 総合満足度」は「授業についての評価」をより強く反映しているように見える。科目構成の割合は、前期と後期は違っており、前期は講義科目が多く、後期は実習・演習科目が多くなっている。さらに、1年次に講義科目が集中し、それ以降の年次にはほとんどない。これらのことが前期と後期の評価の違いに現れてくる理由の一つと考えられる。

前回と同様の分析に従うと、「14 総合満足度」は年々高くなり、全体の傾向は、授業に対して内容・方法等に満足し、興味関心もあり、理解できる授業であり、学生はシラバスのチェック、予習・復習はほとんどせず、授業に臨んでいるが、授業態度は、私語も質問もなく、一生懸命に課題に取り組んでおり、総合的に満足している、となる。

しかし、全学科の前後期の相関係数表から「13 予習・復習」と「12 シラバスのチェック」「10 授業への質問」との相関が高く、重回帰分析からこれらの項目は「14 総合満足度」に負の影響を与えている。これは、現状のシラバスでは学生が予習・復習できず、授業において質問ができない状況になっていることが予想され、必ずしも学生自身の反省の評価とはいえない。

重回帰分析から、4年になるにしたがって総合満足度に影響を与える項目が変化しているが、興味関心がほぼ全てに共通している。マンネリ化した授業ではなく、1回1回興味関心がわく授業を学生が求めているといえる。しかし、家政学科4年は、話し方が明瞭で、理解授業を求め、児童学科4年は、学生が課題に取り組めるか、が焦点になっている。これは、4年次では“興味関心がわく授業”を期待しなくなっていると思われる。

健康栄養学科1年の評価は、前期は講義についておおむね低い評価で、実習演習については高い。後期はほぼ同じである。前期は大学の講義が期待はずれや、難しくついていけないと思ったのだろうか。しかし、重回帰分析からは積極性が見られる。

家政学科234年生は、受け身的な授業を要求しているようである。児童学科は自発的、積極的な学習態度であるが、学習目的について関心が無いようである。

これらのことから、学生に対して、1年時に大学生としての目標、勉学についてのスキル育成、学年進行に伴い必要に応じてリメディアル教育、リカレント教育が必要と思われる。授業においては、興味関心をわかせるために、アクティブラーニングや協働学習、インターネットの利用、タブレット端末の導入も効果があると思われる。さらに予習・復習ができるように、学習管理システム等を導入し、授業の詳細な情報を提供し、学生がいつでもどこでもアクセスできるようにする必要がある。ただ、これらの対策として即事的に行うのではなく、教育システム設計等に基づいて計画的に導入すべきである。そのためには、ICTやネットワーク、無線LANの整備活用が必須となる。ダイナミックな学習環境構築が必要と思われる。

3. 付録

「授業改善」のための調査（アンケートで使った調査用紙）

「授業改善」のための調査実施のお願い

学生による授業評価アンケート集計結果表（科目別）

「授業改善」のための調査						■	
科目番号				担当教員番号			
授業科目名				担当教員名			
回答者学科	<input type="radio"/> 家政・健康栄養	<input type="radio"/> 児童	回答者学年	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4
	●	●		●	●	●	●
下記の項目について、この授業においてどれくらいあてはまるか、5～1（5段階評価）の○を塗りつぶしてください。（黒ボールペン指定）							
設問文	5	4	3	2	1		
	よくあてはまる	まあまああてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
1 授業の内容はよく理解できた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	●	
2 授業の内容に興味・関心が持てた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	●	
3 この授業の目標、目的は明確であった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	●	
4 この授業において、教員の熱意が感じられた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	●	
5 話し方は明瞭でかつ適切な速さであった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	●	
6 この授業の学習内容の量は適切であった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	●	
7 この授業は教材（教科書、資料配布、ビデオ資料など）が工夫されていた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	●	
8 授業科目名と授業内容が一致していた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	●	
9 授業中まじめに説明を聞き課題に取り組んだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	●	
10 この授業で質問等を積極的にした	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	●	
11 授業とは関係のない行為（私語や携帯電話の使用など）をしなかった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	●	
12 この授業のシラバスをよくチェックした	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	●	
13 この授業のために予習・復習をした	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	●	
14 総合的に判断してこの授業に満足した	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	●	
その他、この調査や授業について気づいたことを書いてください							
● ● ● ● ● ■							

各 位

FD 委員会

「授業改善」のための調査実施のお願い

封筒の中に、「授業改善」のための調査用紙が入っております。

授業終了前、10分間程を利用して、調査用紙を受講学生に配布して調査用紙への記入をさせてください。

学生の記入がおわりましたら、回収し、この封筒に入れ封をして、授業終了後、速やかに学務課に提出してください。

この調査は、大学の自己点検・自己評価の資料として、とりわけ FD(授業改善)に関連して実施するものであり、大学が特定の先生の授業を評価するために実施するものではありません。後日、調査結果の集計が終了した時点で、教科担当の先生に対して、その先生が担当している科目の調査結果についてのみお知らせする予定でおります。先生方の授業改善のためにお役立て頂きたいと思っております。

なにとぞ、主旨をご理解の上、ご協力頂きたくお願い致します。

◇ 調査を始める前に学生に下記の事項を読んで、この調査の主旨を学生によく理解させた上で調査を行ってください。

1. この調査は、今後の授業をより良くするためのものです。授業改善のために役立つ率直な意見をお願いします。先生に対する主観的な好悪の感情で記入しないように、くれぐれもお願いします。
2. この調査は、調査対象者である学生の名前を記入させない無記名で行います。調査用紙を回収する際には、調査用紙を裏返しにして、集め終わった調査用紙をシャッフルし順番を入れ替えて先生に渡してください。

200*年度〇期 学生による授業評価アンケート集計結果表（科目別）

東北女子大学

科目番号	3333
科目名	*****
教員名	〇 〇 〇 〇

対象	〇年児童学科
----	--------

履修者数	36 名
回答者数	36 名

番号	設問文	回答分布(人)						平均	学科平均
		5	4	3	2	1	無効回答		
		よくあてはまる	まあまああてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない			
1	授業の内容はよく理解できた	12	15	3	4	2	0	3.9	4.3
2	授業の内容に興味・関心が持てた	14	11	3	5	3	0	3.8	4.3
3	この授業の目標、目的は明確であった	16	17	2	1	0	0	4.3	4.5
4	この授業において、教員の熱意が感じられた	13	16	4	3	0	0	4.1	4.6
5	話し方は明瞭でかつ適切な速さであった	11	9	8	7	1	0	3.6	4.3
6	この授業の学習内容の量は適切であった	12	10	9	2	2	1	3.8	4.3
7	この授業は教材(教科書、資料配布、ビデオ資料など)が工夫されていた	7	12	12	1	4	0	3.5	4.2
8	授業科目名と授業内容が一致していた	18	11	4	3	0	0	4.2	4.6
9	授業中まじめに説明を聞き課題に取り組んだ	15	16	4	1	0	0	4.3	4.4
10	この授業で質問等を積極的にした	9	7	11	4	5	0	3.3	3.5
11	授業とは関係のない行為(私語や携帯電話の使用など)をしなかった	16	12	3	3	2	0	4.0	4.1
12	この授業のシラバスをよくチェックした	3	5	12	4	12	0	2.5	2.7
13	この授業のために予習・復習をした	5	15	7	5	4	0	3.3	3.5
14	総合的に判断してこの授業に満足した	10	15	6	4	1	0	3.8	4.3

〇自由記述

.....

